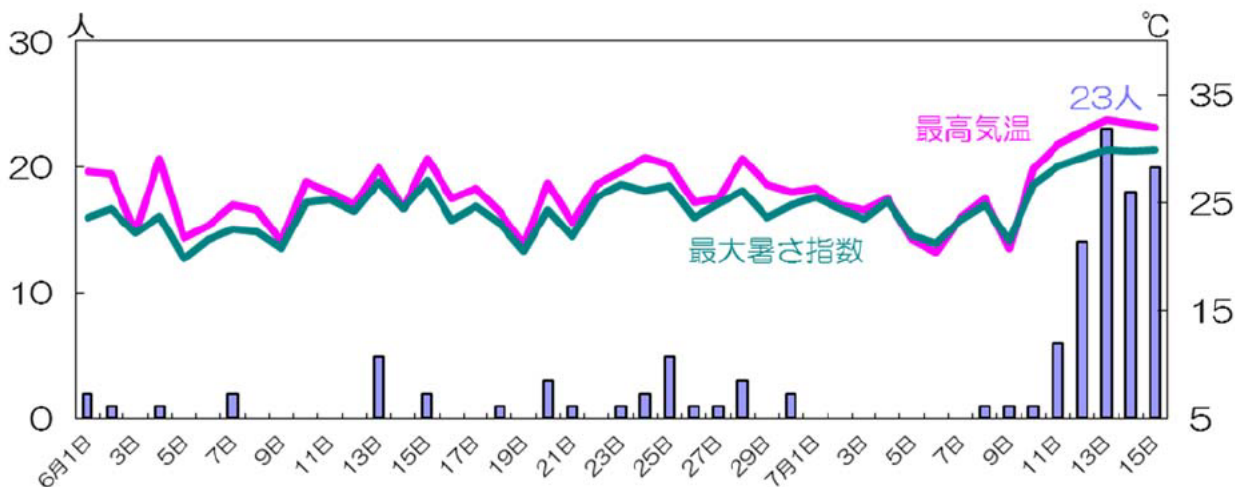


熱中症情報

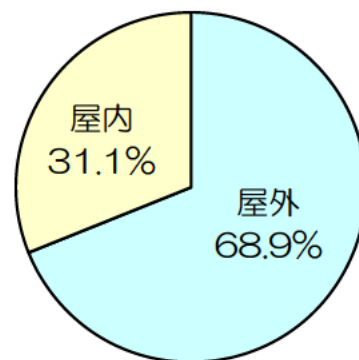
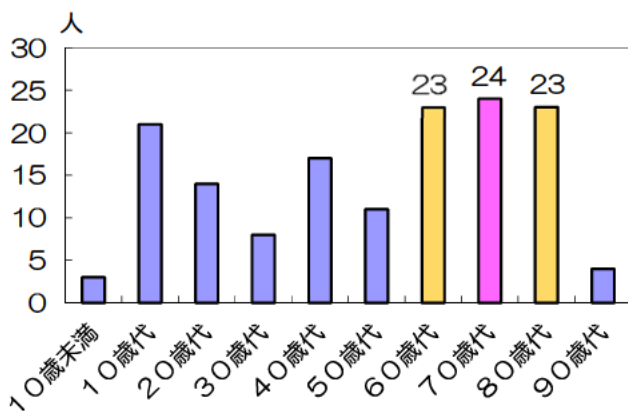
<搬送数>

平成27年5月1日～7月15日までの搬送数（消防局データを使用）は、計148人（5月31人、6月33人、7月84人）でした。熱中症は、身体がまだ暑さになっていない梅雨明けから、蒸し暑い日、風が弱い日、日差しが強い日等に増加する傾向があります。7月11日以降、最高気温が30℃を超え、搬送数が急増しました。



暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「環境省熱中症予防情報（暑さ指数（WBGT）について学ぼう）」をご覧ください。

<年齢別> 年齢別では、70歳代が16.2%、
次に60・80歳代に多く、15.5%を占めていました。
<発生場所> 屋外68.9%、屋内31.1%で、
屋外での発生が多くなっています。



<重症度> 軽症73.6%、中等症23.0%、重症2.7%、重篤0.7%でした。
重症以上は5人で、80歳以上が2人でした。
年齢が高くなるにつれ、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

